

療育研修会

愛知県支部 分科会

◆テーマ

iPS細胞を使った筋ジストロフィーに対する治療研究の最前線

講師： 京都大学iPS細胞研究所・臨床応用研究部門 准教授 櫻井 英俊 先生

【内容】

ノーベル賞を受賞した「iPS細胞」とはどんな細胞なのか？なぜこれほど期待されているのか？

1. iPS細胞の成り立ち

- ・ iPS細胞とは？「何にでもなれて、いくらでも増える細胞」
 - ・ 最初の万能細胞はES細胞であった。しかし、ヒトES細胞には問題点が存在する。
 - ・ 2006年、マウスiPS細胞誕生、2007年、ヒトiPS細胞誕生！
 - ・ iPS細胞に何ができるのか？ 病気の解明（疾患iPS）、創薬・有効性・毒性試験
-

2. 実際の応用例

- ・ 世界初の応用～加齢黄斑変性～ 細胞治療が安全に実施できることを示しました
 - ・ iPS細胞を予め作って、備蓄する ①特殊な細胞の型を持つ方から血液を採取 ②医療用のiPS細胞を作る ③品質を評価する ④冷凍保存
 - ・ 健常な方のiPS細胞ストックの設立へ
 - ・ さらに拒絶反応の少ない“ユニバーサルiPS細胞”作製への取り組み
-

3. 筋肉難病の治療法開発に向けて～筋ジストロフィーの治療法開発

A) 再生医療の取り組み

iPS細胞から筋肉幹細胞はできましたが、臨床応用にはまだ課題があります

1. 筋肉幹細胞を選り分ける方法
 2. 生物由来原材料を使わずに作る方法
 3. 運動機能の改善を判定する方法
 4. どうやって臨床研究を進めるか
-

B) 創薬研究の取り組み

- ・ iPS細胞技術を活用した筋疾患の創薬研究
 - ・ なぜDUX4が筋肉で発現してしまうのかを解明し、治療法に繋げる研究を進めています
-

療育研修会実施状況

愛知県分科会

分科会

参加数

47名

実施場所

あいち健康プラザ



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

- IPS細胞の説明から始まり、IPS研究所の筋ジストロフィーの 柳井先生の
ラボで行なわれている研究が 最も詳しく聞くことができて 有意義でした
- ・ 肢帯型の情報が 無いので 次回は お願いする
 - ・ 毎年柳井先生に 筋ジストロフィーの治療法の 研究状況を 講演してほしい
 - ・ 小児患者 における 治験や 筋ジストロフィーに関する 圧瘻の話を 聞いてみたい
 - ・ 皮膚のコラーゲン 欠損部分の 修復の話が あったが 興味深い
 - ・ SMAだと 生まれつきに ゼルゲンスマ を打つと 治ってしまう というのは どのような
仕組みなのか
 - ・ 大変わかりやすかった

相談会 実施状況

鍼灸部 分科会 参加数 6 名



実施を終えて (相談内容、相談者の感想等)

相談内容

最近仕事をやめたら 骨に疲労が悪くなりました

左肩が常に脱臼している状態で腕が重くて仕方がない

自宅下といい所に支えがあるので立つことが出来るが、外に出ると

トイレット、フコ場、バスの高さとか微妙に置けて立つことが

出来ないところがある、相談はどの様に解決しているか

感想等

相談者様の 日常の工夫を話し合うことで とても有意義であった

本人の困っていることが とてもいっしょにあることが理解できました

早く進行をゆるぎ薬が下ってほしいと切に思った